

大規模養豚農場における繁殖成績改善に向けた生産性向上の取り組み

今回紹介する農場は、近年生産成績が低迷し早急な成績改善が望まれていた。そこで、平成20年9月より農場、JA、食肉センター、家畜保健所、ノーサイによる生産性向上対策委員会が設置。問題点について分析し、改善策を協議・決定している同委員会の取り組みを紹介する。

繁殖成績改善のための豚管理方法の見直し

委員会では現在三つの課題について取り組んでいる。

- ①繁殖成績の改善
 - ②子豚段階での事故率改善
 - ③肥育段階での事故率改善
- ここでは繁殖成績改善のための取り組み内容について紹介する。

●母豚の適正な体型管理

妊娠期の体型（太り具合、ボディコンディション）管理

そこで給餌ホッパーを交換し、妊娠ステージとボディコンスコアを考慮した給餌量の調節ができるようにした。これによりステージごとに理想

は繁殖成績に大きな影響を及ぼす。その管理には給餌量の調節が非常に重要であるが、この農場では給餌ホッパーが老朽化し調節ができなくなっていた。

母豚の体型を客観的に確認できるリーンメーター[®]で、背脂肪厚を指標とするボディコンを測定したところ、理想的なスコアと差があることもわかった。

このため、不受胎豚の処置の迅速化を目的に妊娠判定時期を妊娠中期から妊娠前期（種付け後30日まで）へ早め、鑑定機器も保有していたドップラー式から超音波画像診断装置へ変更した。

●妊娠判定時期の見直し

以前は妊娠60〜70日目に妊娠鑑定を行っていたが、不受胎豚が増加した場合、突発的な母豚の移動や種付け作業が負担となっていた。

理想的なボディコンの母豚がそろい始めており、繁殖成績の改善につながっていると考えられる。

ボディコン管理では分娩舎での程度やせたかも重要であり、妊娠交配舎と分娩舎の連携も必要となる。

委員会発足1年

上し、作業の効率化が図られ、正確な分娩腹数の見通しが立つようになった。

委員会を立ち上げて1年が経過したが、今後もやるべき課題は多い。農場責任者は「改善に向けた取り組みの階段を着実にのぼっていくため、生産性向上委員会を中心に、関係機関と農場が一丸となってがんばっている。その結果、繁殖成績が改善してきた（表2）。今後も、好成績を維持していくためにも、現場で働く一人ひとりが自分の担当する部門に責任を持ち、全員が向上心を持って農場全体の生産性を上げていきたい」と話す。

母豚飼養管理の見直し



リーンメーターで背脂肪厚を測定したボディコン調査。リーンメーターは触診や目視のように経験を問わないため、個人差が出にくい。



Point!

給餌ホッパーを交換し、給餌量の調整ができるようにしたところ、ステージごとに理想的な母豚がそろい始めてきた

量が調節可能かつ中を洗える新しいホッパー

図1：母豚の背脂肪厚測定値の推移（リーンメーター[®]による測定）

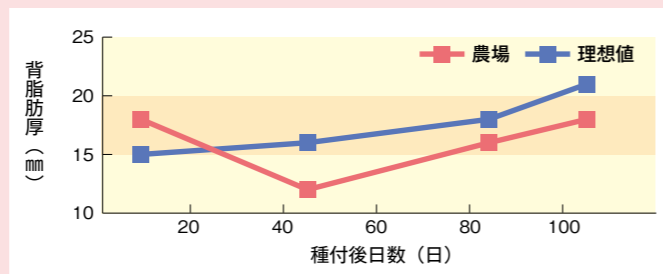


表1：妊娠判定の時期と種類の変更

	変更前	変更後
鑑定時期	交配後 60〜70日	交配後 21〜30日
鑑定器の種類	ドップラー式	超音波画像式

表2：繁殖成績の改善状況

項目	平成19年度 下期(1〜6月)	平成20年度 下期(1〜6月)
分娩率 (%) (4ヵ月前種付頭数/当月分娩)	75.0	81.4
1腹当たりの正常産子数(頭)	9.1	9.5
保育〜離乳事故淘汰率 (%)	26.8	7.4

※平成20年9月以降の種付けは下期(1〜6月)の分娩率に影響し、季節的要因を考慮して前年(平成19年)下期との対比とした。



超音波画像診断器による妊娠判定

その他の取り組み



母豚の体感温度を下げる送風ダクト



夏場対策でメーターファンを下向きに角度をつけて設置

●分娩予定表

SSO	09月の状況			07月分娩予定			03月分娩予定			
	母豚No.	産数	日付	子数	母豚No.	産数	日付	母豚No.	産数	日付
43	JA217	3		7	7JA1779	2		5JA1399	4	
44	JA1051	3		8	6JA202	4		5JA1843	3	
45	JA316	3		8	10JA294	6		5JA1977	1	
46	SS296	1	11	8	8JA751	2		5JA2036	1	
47	JA1258	3		9	11JA969	4		5JA2244	4	
48	JA1647	2		9	5JA970	4		5K1897	6	
49	JA1803	7		9	8JA1780	8		5L127	3	
50	JA465	2		9	12J178	6		5JA1550	3	
51	JA320	2		10	10J228	6		5JA1252	2	
52	L106	7		10	8JA1194	3		6JA1266	2	
53	S34	3		10	10JA1642	2		6JA1187	7	
54	SS260	1	11	10	8JA1666	1		6JA1899	2	
55	JA1295	3		11	10JA1708	2		6JA1935	1	
56	JA321	4		11	9JA1774	2		6JA253	2	
57	SS91	1	11	11	9JA294	6		6JA1822	7	
58	JA1169	2		12	11JA339	5		6JA1882	8	
59	JA1287	3		12	6JA414	3		6L154	3	
60	JA1551	7		12	12JA464	4		6J-24	1	
61	JA1719	1	11	12	10JA749	4		6S287	1	
62	JA374	3		12	11JA761	4		6JA1853	1	
63	JA883	4		12	10JA886	3		6JA1899	2	
64	JA863	3		12	10JA941	3		6J-34	1	
65	L163	3		12	10J135	3		6J29	2	
66	SS95	1	11	12	8JA2093	1		7JA1811	3	
67	SS98	1	11	12	7JA368	3		7JA1517	3	
68	JA1104	2		13	11JA725	4		7JA1788	2	
69	JA1649	2		13	9JA777	2		7JA274	2	
70	JA1941	1	11	13	10K173	9		7JA311	6	
71	SS222	1	11	13	12J1221	5		7JA311	6	

PICSの「分娩予定表」を活用して、分娩腹数の見通しを把握

DATA 事業規模
所在地：九州沖縄地方
飼養頭数：母豚1000頭